



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月4日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <https://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3991

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	98,680	9.6	6,838	14.3	6,858	13.9	4,829	19.3
2018年3月期第3四半期	90,050	15.4	5,983	1.9	6,022	4.1	4,047	1.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 4,501百万円 (12.7%) 2018年3月期第3四半期 5,155百万円 (89.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	49.27	
2018年3月期第3四半期	41.62	

(注) 当社は2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	72,477	38,238	51.6
2018年3月期	64,512	35,549	52.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 37,385百万円 2018年3月期 34,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		36.00	36.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				18.36	18.36

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2019年3月期(予想)については、当該株式分割の影響を考慮しておりません。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,300	5.3	9,000	5.8	8,900	1.8	5,950	2.4	61.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	101,754,100 株	2018年3月期	101,741,200 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	3,666,652 株	2018年3月期	4,462,408 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	98,014,751 株	2018年3月期3Q	97,270,776 株

(注)当社は2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnet及び当社ホームページに同時に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結経営成績の概要>

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益環境や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移している一方、世界経済における貿易摩擦の長期化等の懸念材料により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属するパソコン市場は、国内の当第3四半期のパソコン出荷台数及び金額が法人向け需要の堅調に支えられたこと等から、前年同期比で出荷台数は6.5%増加、出荷金額についても10.4%の増加となりました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は98,680百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は6,838百万円（同14.3%増）、経常利益は6,858百万円（同13.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,829百万円（同19.3%増）となり、売上高、各利益の全てにおいて前年同期比を上回ると共に、第3四半期の累計の過去最高を更新する結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

① パソコン関連事業

普及モデルの「mouse」ブランドパソコン及び高付加価値、特化型製品であるクリエイター向けパソコン「DAIV」、ゲーミングパソコン「G-Tune」等のBTO（受注生産）、完成品パソコンの製造・販売と、「iiyama」ブランドによる汎用、デジタルサイネージ、タッチパネルの欧州におけるモニタ販売を中心に、マーケットニーズを的確に汲み取り、新製品・新サービスの投入を行うことで、積極的に事業展開をしております。

パソコン市場全体が低迷する中、高付加価値及び特化型のハイスペックパソコンにつきましては、法人、コンシューマー向け共に引き続き順調に推移していることに加え、知名度向上によるマーケットシェアの拡大を狙い、2017年3月期より継続的に実施しているテレビCM、Web広告等の広告宣伝効果により売上高が伸びました。又、欧州でのモニタ販売が引き続き好調であったことから、当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は96,081百万円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益は6,909百万円（同17.3%増）となりました。

② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は2,627百万円（前年同四半期比0.5%増）となったものの、店舗閉鎖や既存店舗の苦戦等により、営業利益は116百万円（同43.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は72,477百万円となり、前連結会計年度末と比べて7,965百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は34,239百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,276百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、買掛金等の営業債務や借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は38,238百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,689百万円の増加となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少によりその他の包括利益累計額が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績につきましては、2018年5月14日に公表しました予想数値に対し概ね順調に進捗しており、通期の連結業績予想の修正を必要としない範囲で推移しております。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

当社グループは、2016年5月13日に公表しました2019年3月期を最終年度とする中期経営計画に基づき、主力事業であるパソコン事業においては従来から持つ競争力を引き続き強化し既存事業としての収益性を高めると同時に、M&A等により新規事業分野を積極的に開拓・育成し、連結業績予想及び中期経営計画の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,049,848	17,438,300
受取手形及び売掛金	14,622,542	15,912,708
商品及び製品	15,572,352	19,743,494
仕掛品	89,004	88,696
原材料及び貯蔵品	4,216,438	5,980,443
その他	1,443,149	2,204,754
貸倒引当金	△11,705	△10,428
流動資産合計	53,981,631	61,357,969
固定資産		
有形固定資産	3,824,526	4,378,434
無形固定資産		
のれん	2,426,036	2,284,639
その他	541,794	631,054
無形固定資産合計	2,967,831	2,915,694
投資その他の資産		
その他	3,804,944	3,892,485
貸倒引当金	△66,906	△66,770
投資その他の資産合計	3,738,038	3,825,714
固定資産合計	10,530,396	11,119,843
資産合計	64,512,027	72,477,812
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,409,625	11,604,967
短期借入金	8,038,211	12,249,278
未払法人税等	2,052,355	767,866
製品保証引当金	792,836	854,500
その他の引当金	361,523	304,384
その他	4,128,304	4,220,566
流動負債合計	23,782,856	30,001,563
固定負債		
長期借入金	3,390,269	2,504,950
退職給付に係る負債	332,478	313,280
その他	1,457,200	1,419,263
固定負債合計	5,179,947	4,237,493
負債合計	28,962,804	34,239,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,854,491	3,859,883
資本剰余金	8,508,582	8,890,171
利益剰余金	21,188,119	24,266,710
自己株式	△470,240	△386,388
株主資本合計	33,080,951	36,630,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,102	△514
為替換算調整勘定	1,073,091	750,955
退職給付に係る調整累計額	△9,191	5,045
その他の包括利益累計額合計	1,061,797	755,487
非支配株主持分	1,406,474	852,891
純資産合計	35,549,223	38,238,755
負債純資産合計	64,512,027	72,477,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	90,050,856	98,680,715
売上原価	70,113,267	76,044,392
売上総利益	19,937,588	22,636,322
販売費及び一般管理費	13,953,759	15,797,806
営業利益	5,983,829	6,838,516
営業外収益		
受取利息	46,462	52,697
受取配当金	-	18,340
負ののれん償却額	13,814	13,814
受取手数料	36,516	42,899
その他	54,706	94,377
営業外収益合計	151,500	222,129
営業外費用		
支払利息	61,104	55,385
為替差損	31,981	111,688
支払手数料	11,028	22,732
その他	8,907	12,341
営業外費用合計	113,022	202,148
経常利益	6,022,307	6,858,497
特別利益		
固定資産売却益	2,240	3,018
関係会社株式売却益	-	6,322
特別利益合計	2,240	9,340
特別損失		
固定資産除却損	4,526	216
減損損失	1,098	245
賃貸借契約解約損	9,055	11,621
事務所移転費用	8,667	-
その他	2,220	288
特別損失合計	25,569	12,371
税金等調整前四半期純利益	5,998,978	6,855,466
法人税、住民税及び事業税	1,903,147	1,888,578
法人税等調整額	△15,578	133,018
法人税等合計	1,887,569	2,021,597
四半期純利益	4,111,408	4,833,869
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,444	4,260
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,047,964	4,829,609

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	4,111,408	4,833,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	21,479
為替換算調整勘定	1,074,846	△368,138
退職給付に係る調整額	△31,042	14,236
その他の包括利益合計	1,043,803	△332,422
四半期包括利益	5,155,212	4,501,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,091,768	4,523,299
非支配株主に係る四半期包括利益	63,444	△21,852

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は、前連結会計年度末より381,589千円増加し8,890,171千円となりました。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より83,851千円減少し386,388千円となりました。

これらの主な要因は、当社が2018年4月24日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、当社の連結子会社であるテックウインド株式会社を株式交換完全子会社とする簡易株式交換を行い、自己株式397,880株を交付した結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が393,971千円増加、自己株式が83,855千円減少したものです。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	87,437,538	2,613,317	90,050,856	—	90,050,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,844	—	62,844	△62,844	—
計	87,500,383	2,613,317	90,113,700	△62,844	90,050,856
セグメント利益	5,889,981	206,865	6,096,847	△113,017	5,983,829

(注) 1. セグメント利益の調整額△113,017千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△536,337千円、セグメント間取引消去423,414千円、その他の調整額△94千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,053,135	2,627,579	98,680,715	—	98,680,715
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,295	—	28,295	△28,295	—
計	96,081,431	2,627,579	98,709,010	△28,295	98,680,715
セグメント利益	6,909,392	116,633	7,026,026	△187,510	6,838,516

(注) 1. セグメント利益の調整額△187,510千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△641,209千円、セグメント間取引消去453,628千円、その他の調整額71千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。